

こんにちは! 社協です!!

ふれあいネットワーク

2018

1月

No.151



特集
P2・3

2018年の宍粟市社協
理事の新春メッセージ

ほっとけないをほっとかない宍粟に

地域が元気になる

支え合い活動を

ひ孫と
いっしょ

シリーズ150

一宮町能倉

谷口 眞子さん(84歳)

琉翔くん(4歳)

蘭ちゃん(2歳) 黎くん(10ヶ月)

森脇 則博さん・やよいさん

■長男・長女・二男

あけまして

おめでとう

ございます

平成30年正月

年頭にあたり本会理事
15名から新春メッセージ
をお届けします。



支え合い

ふくしプランの実現

もりもと ときお
森本 都規夫 会長

(波賀町谷)



新年のお慶びを申し上げます。
市民の皆さんのご理解とご協力を賜りながら、
だれもが安心して暮らせるふくしのまちづくり
「ほっとけない」をほっとかない災害を進めるた
め、役職員一同本年も頑張りますので、どうかよ
ろしくお願い申し上げます。

安心して暮らせる

まちづくり

のむら かずお
野村 和男 副会長

(山崎町寺町)



少子高齢化が進む中、地域のつながりや支え合
いが大切になってきました。社協は皆さんとも
に「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続
けられるまちづくり」を目指しています。
地域福祉の推進に向け、皆様のご理解ご協力を
今後ともよろしくお願いいたします。

助けてを支え合いで

やまだ かずあき
山田 一秋 副会長

(千種町河呂)



介護の必要な高齢者が増え続けるなかで、地域
での支え合いがますます大切になってきます。
「助けて」と悩みや困りごとの声を出せる仕組
み、「近所同士の助け合い、見守り活動」安心し
て暮らせるふくしのまちづくりを進めていきます
ので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

食のセーフティネット事業

うすき よしひさ
薄木 喜久 副会長

(二宮町百千家満)



子どもの貧困は、親の離婚、交通事故、病気な
ど本人に責任なく起こりうる問題です。これらの
問題がきっかけで困窮に陥り、犯罪等に走るこ
とを防がねばなりません。社協では、昨年の九月か
ら困窮者支援の一つとして「食のセーフティネッ
ト事業」に取り組んでいます。どうか皆様この事
業へのご理解ご協力をお願い申し上げます。

2018年の災害市社協

理事の新春メッセージ

「ほっとけない」をほっとかない災害に
地域が元気になる
支え合い活動を

「お気軽」に「じつくり」と

きぬがさ じろう
衣笠 二郎 理事

(山崎町神谷)



私と社協との「縁」は自治会長の時でした。
社協って何するところ。知っているようで知らな
いなと思ひ質問したところ、職員さんが快く自宅
まで出向いて下さり色々ご教示頂きました。
それにより自治会長としての目標が確認でき楽
しく活動できました。自治会長の皆さん、社協の
職員と「お気軽」に「じつくり」と話をしてみま
せんか。役立ちますよ。

地域のつながりを大切に

かじもと
梶本 みゆき 理事

(山崎町庄能北)



地域の支え合いやつながりが希薄化する中、ふ
れあい喫茶やいきいき百歳体操をつながりにして、
「ほっとけない」を、ほっとかない災害「を合言葉に、
「近所ボランティアをめざして、誰もが安心して暮
らせる地域社会になることを願って頑張っていきた
いと思います。」

いきいきと元気な百歳時代へ

やまだ こ
山田 クニ子 理事

(山崎町杉ヶ瀬)



介護保険制度改正で、地域での支え合いが大切
になっています。私たちも週一回いきいき百歳体
操をしています。体操はもちろん、皆の顔を見て
話をするのが楽しみとの声、コミュニケーション
の大切さを噛みしめています。一人ひとりが声を
かけあって、いきいきと元気で明るい地域をめざ
しています。

勇気が福祉を支える！

ふじわらのりお
藤原 憲男 理事

(二宮町山田)



誰もが優しい思いやりの心があり、福祉の大切さを知っていますが、なかなか出来ない、避けてしまふ。「おせっかいやき、余計な事を」等、批判が気になり恥ずかしいとも思います。私も当てはまる。

じゃあどうすれば……勇気はありません。大きなものでなく、ほんの少しの勇気です。それが一人ひとりの福祉への源だと思っています。

ふれあい・支え合いを応援します

とちお たきこ
朽尾 多喜子 理事

(二宮町福野)



各地域や自治会などで、ふれあい行事が多く行われています。地域の人たちが集い、ふれあいのひと時を過ごすことが元氣や張り合いを生む大きな力になっているようです。集い支え合う力を継続して発展させていける様に、社協も応援していきます。

新しい三世代同居型は!!

やまね きる
山根 勝 理事

(波賀町安賀)



夢多き新年を迎えました。昨今の高齢者像について思うこと。高齢者自身が見守り、居場所づくり、ボランティア活動など、豊かな知識や経験を活かす地域福祉の担い手に!!三世代同居は、日本型福祉の含み資産。地域で新しい三世代同居型は考えられないでしょうか。「ほっとけないを、ほっとかない穴栗に」。若い世代とともに歩みましょう。

2018年は、宍粟市民の皆様とのつながりや信頼を構築してきた宍粟市社協として、第3次地域福祉推進計画(愛称…支え合いふくしプラン)をさらに推進して参ります。本年も皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



「ほっとかない」を合言葉に

やまむら えいこ
山村 栄子 理事

(波賀町水谷)



過疎少子高齢化が進む中、「ほっとかない」を合言葉に、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりのお手伝いをして行きたいと思っています。

社協では、福祉連絡会が主体となった「防災・福祉マップ作り」に取り組んでいます。皆様のご理解とご協力をよろしく願います。

お互い様の気持ちで

支え合いを

おわたに よしあき
大谷 義明 理事

(千種町河内)



少子高齢化で過疎が進み地域社会におけるつながりが薄れていき、日々の生活に不安を抱える人が増えています。見守り活動の重要性が高まる中で、ふれあい喫茶などの寄り合える場づくりが大切です。お互い様の気持ちで支え合える地域づくりが出来たらと思います。

あり・が・とう

いわぶき しずよ
岩路 静代 理事

(千種町奥西山)



まわりの人から親切にしてもらった時は「ありがとう」といつこり笑ってお礼を言います。

「ありがとう」は感謝の言葉です。そして、自分も相手も幸せにする言葉、人との付き合いで大切にしたい言葉。家庭や地域の中で、普段から自然に「ありがとう」が出るように心がけたいものです。今年も一年よろしく願います。

地域の一員として

あきたけ まさし
秋武 賢是 理事

(二宮町西公文)



昨年、理事となり、新年を迎えました。

社会福祉の尊さ、必要さを改めて感じています。社協の使命である「当事者・住民の主体性を原動力としながら、生活課題を抱える一人ひとりが地域の一員として、『自分らしく』暮らせる地域社会づくり」に努めます。

温かなまち 穴栗

つむら ゆうじ
津村 裕二 理事

(宍粟市健康福祉部次長)



「ぼちぼちしよつてか〜」こんな声を聞くと、ほのぼのと温かな気持ちになります。

人口減少の課題は大きいですが、だからこそ地域の皆さんや社協、行政等がそれぞれの役割を持って連携し、心豊かに暮らせる地域を守り、温かな穴栗を創っていきましょう。

や

まさき

楽しく自由にのびのびと

地域での放課後子ども教室

12月18日(月)、上牧谷自治会の大垣陽子さん(38歳)宅の離れで、月4回行われている※「蕨沢放課後子ども教室」放課後わくわくパーク」にお邪魔しました。

子どもたちが放課後週1回でも自然の中や、おもちゃを手作りして遊ぶ機会があればいいなあと、大垣さんと2人の友人で話し合い取り組みをしています。

大垣さんたちは、「この地区は自然がいっぱいで子育てにとてもいい環境。地域の中でのびのび大きくなつてほしいなあ」と話されます。

また子どもたちも「ゲームも好きやけど田んぼで遊ぶのが楽しいで」「オセロも手作りしたよ」とワクワクした笑顔を見せてくれました。「今後は、子育て中の



この日は、松ぼっくりや木の枝を使ってクリスマスツリーづくりが行われました。「きれいなんできたよ。手作り楽しい」と自由にのびのび楽しむ子どもたち

お母さんが気軽に寄っておしゃべり出来るような居場所も作りたいと模索中なんです」と大垣さんの夢は膨らみます。

※「蕨沢放課後子ども教室」は、放課後などに地域の方との交流活動を通じて「子どもが健やかに育ちつくり」を推進している事業です。

(山崎支部 山本めぐみ)

い

ちのみや

地域の宝物でNPOと村おこし

中坪ふれあい蕎麦打ち会

中坪自治会では、15年前からNPO法人「樹恩ネットワーク」との交流を通して村おこしをしています。

都市部から参加の樹恩の会員は、地元住民といっしょに農作業をしたり、その後の会食などを楽しみながら活動しています。

12月10日(日)には「ふれあい蕎麦打ち会」が開催され、樹恩から18人と地元から50人が参加し、山仕事や蕎麦打ちをして交流を深めました。

「中坪のみなさんはいつも温かく迎えて下さる。いろいろ教えてもらい、いっしょに作業するのは楽しい」と、大阪から参加の「樋和美さん」。

「高齢化や人口が減る中、草刈りなどもやってくれてありがたい。空き家も交流に使ってるんやで」と、農会長の勝木健さんは笑顔で話されました。

このように、田畑や空き家、



和気あいあいと蕎麦を打ちながら話がはずみました(中坪公会堂)

農作業のノウハウなど地域の資源(「宝物」)を活かしながら、NPOと連携し村おこしに取り組んでいる中坪自治会。

活動を通してできた樹恩との出会いやつながりは、地域の元氣になっています。

これからも、中坪の宝物を大切にしながら、活力ある地域づくりを進めてください。

(二宮支部 上川あゆみ)

は
が

「寒いけど、暖かくして、元気で長生きしようで」
ご家族の支えもあり、玄関まで出てくださる方も
(右 植田老人会長)

元気で長生きしようで

波賀支部老連「歳末お見舞い事業」

波賀支部老人クラブ連合会では、毎年会員のみなさんへ老人クラブ福祉募金を募り、「歳末お見舞い事業」として寝たきりや認知症等、介護が必要な会員の方々にお見舞い品をお届けしています。

12月15日(金)、野尻老人クラブの役員が会員のお宅を慰问されるとお聞きし、同行させていただきました。

同クラブは会員数32人、自治会の世帯数は35戸と小さな

集落で、高齢化率は47・9%と非常に高い地域です。

この日は3名のお宅を訪れ、「寒いけど元気にとつてか」と世間話から最近の生活の様子や体の状況を伺いました。

そして「元気で長生きしようで」との温かい声かけに、みなさん笑顔でこたえられ、お見舞い品と女性部手作りの小物がプレゼントされました。

植田直幸会長は、「日頃から村の中をウォーキングして、いつもおる人がおらんかったら近所の人に聞いたり、やっぱ顔を合わせる大切。高齢者が多いから助け合っていかな」と話されました。

また、訪問時には介護者の方々にも話を伺い、声をかける姿も見られ、改めて日頃からの地域のつながりや、みんなで見守り、支え合うことの大切さを感じる一日となりました。

(波賀支部 田中祥仁)

新年を明るく元気に迎えよう

身体障害者福祉協会千種支部

12月10日(日) センターちくさを会場に、栄栗市身体障害者福祉協会千種支部(以下、協会)主催のクリスマス会が行われ、28人が参加されました。

協会では、グラウンドゴルフや食事など会員同士の交流の機会を設けており、今回初めての取り組みとしてクリスマス会を企画されました。

「寒い時期だからこそ楽しく過ごして、新年を明るく元気に迎えましょう」と、瀧本武紀千種支部長からの挨拶でスタートしました。

当日は、コーラスグループ『歌おう会』のみなさんをゲストでお招きし、お茶を飲みながらクリスマスソングに聴き入りました。

その後、テーブルを



「歌おう会」のコーラスの合間に、楽しいトークもあり、会場が盛り上がりました

(千種支部 小原志のぶ)

ち
くさ

子どもたちに夢をプレゼント 「ぶるーべりい会」がサンタで登場



今年は市内10か所に登場。本当に素敵な取り組みです

12月19日(火)、染河内幼稚園(一宮町能倉)のクリスマス会に、ボランティアグループ「ぶるーべりい会」がサンタクロースで登場しました。

宍粟市社協では、歳末たすけあい事業として市内の幼稚園や保育所等で行われるクリスマス行事にサンタクロースを派遣しており、ぶるーべりい会に毎年お手伝いいただいています。

サンタさんに握手をしてもらった園児たちは大喜びで「子どもたちはサンタさんを楽しみにしていました。楽しいクリスマス会をありがとう」と藤田珠美園長から感謝の声が聞かれました。

ぶるーべりい会のみなさん、子どもたちにたくさんの夢をプレゼントいただきありがとうございます。来年も夢のお手伝いをよろしくお願いします。

(一宮支部 岡崎章訓)

波賀小3年生が炭焼き体験 ～谷村おこしの会～



怖がらんと腰を入れて

12月8日(金)、「谷村おこしの会」(波賀町谷)による炭焼き体験が行われ、波賀小学校3年生29人が参加しました。

同会では、自治会の活動拠点施設「谷ふれあいの館」に炭焼窯を併設しており、毎年波賀小学校の環境学習として子どもたちを受け入れています。

この日は雪が吹雪く寒い中にも関わらず、児童たちは大喜びで窯から炭を取り出し、炭火でじっくり焼いたパンと焼き芋を味わいました。

「子どもたちには、学校では学べない体験を通して、いろんなことを感じてもらいたい」と、炭焼きを指導する長井達夫さん。

炭焼きの体験だけでなく、地域のおじいちゃんたちに教えてもらい、色々な話をするのが子どもたちの大きな財産になることでしょう。

(波賀支部 田中祥仁)

ふだんのくらしのしあわせを考える福祉学習 ～学校での福祉学習の取り組みを紹介～



宍粟市社会福祉協議会では、自治会(福祉連絡会)や企業、そして、学校を対象に『ふくしの出前講座』を行っています。プログラムは様々で、学習目的、対象、年齢、人数等に合わせ内容を調整し、本会職員をはじめ、それぞれの分野の専門職や障がいのある当事者のみなさん、地域のボランティアのみなさんが講師としてお伺いします。

今回は、市内で取り組まれている学校での福祉学習を紹介します。



点字体験(河東小)



アイマスク体験(山崎西小)



福祉について(城下小)



手話教室(千種小)



当事者を招いての学習
(波賀中)



ユニバーサルデザイン学習
(山崎西小)



車いす体験(山崎小)



※手話教室は、宍粟市が行う「宍粟市手話教室講師派遣事業」として行われています。